



「情報セキュリティ10大脅威2026」

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）は、情報セキュリティの脅威において、昨年、社会的影響が大きかったトピックスを「情報セキュリティ10大脅威2026」として発表しました。

順位	組織向け脅威	前年順位
1位	ランサム攻撃による被害	1 (→)
2位	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2 (→)
3位	AIの利用をめぐるサイバーリスク	初
4位	システムの脆弱性を悪用した攻撃	3 (↓)
5位	機密情報等を狙った標的型攻撃	5 (→)
6位	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃	7 (↗)
7位	内部不正による情報漏えい等	4 (↓)
8位	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	6 (↓)
9位	DDoS攻撃（分散型サービス妨害攻撃）	8 (↓)
10位	ビジネスメール詐欺	9 (↓)

脅威の1位は「ランサム攻撃による被害」となっています。（11年連続ランクイン）

また、「AIの利用をめぐるサイバーリスク」が初めて10大脅威に選ばれました。

「AIの利用をめぐるサイバーリスク」で想定されるものとして、

- AIに対する不十分な理解に起因する意図しない情報漏えいや他社の権利侵害といった問題
- AIが加工・生成した結果を十分に検証せず鵜呑みにすることにより生じる問題
- AIの悪用によるサイバー攻撃の容易化、手口の巧妙化

などが挙げられています。

最新の手口に関する情報を確認し、手口の変化に応じた対策を講じましょう。



情報セキュリティ10大脅威2026に関する詳細な解説は、2月下旬以降、IPAのウェブサイトで公開予定となっています。

※出典：IPA プレス発表「情報セキュリティ10大脅威2026」を決定 <https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20260129.html>

サイバーセキュリティ月間 #サイバーセキュリティは全員参加

政府では、2月1日から3月18日までを「サイバーセキュリティ月間」と定め、内閣官房国家サイバー統括室(NCO)を中心に、産学官民が連携して、サイバーセキュリティに関する取組（コンテンツの発信、普及啓発）を集中的に行っています。この機会にセキュリティ対策について確認しましょう。

※出典：「みんなで使おうサイバーセキュリティ・ポータルサイト」 <https://security-portal.cyber.go.jp/cybersecuritymonth/2026/>

- ◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策等を、ホームページやX（旧Twitter）に掲載していますのでぜひご覧ください。
- ◆ 万一、被害に遭われた場合は、管轄警察署宛てご一報ください。

(X)

(HP)

